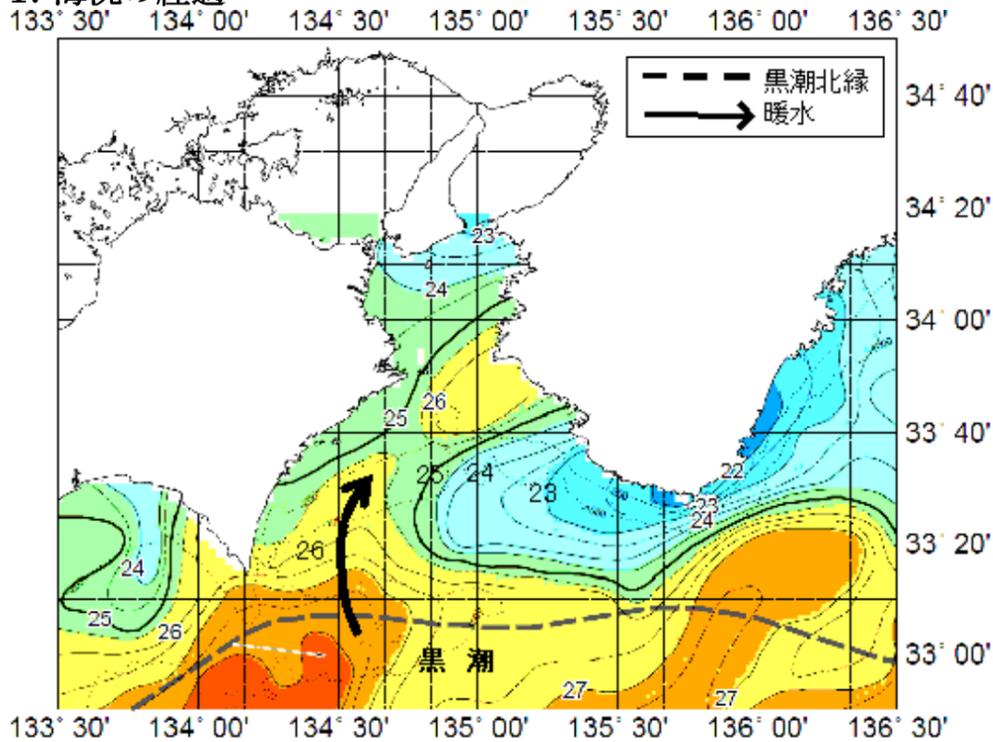


1. 海況の経過

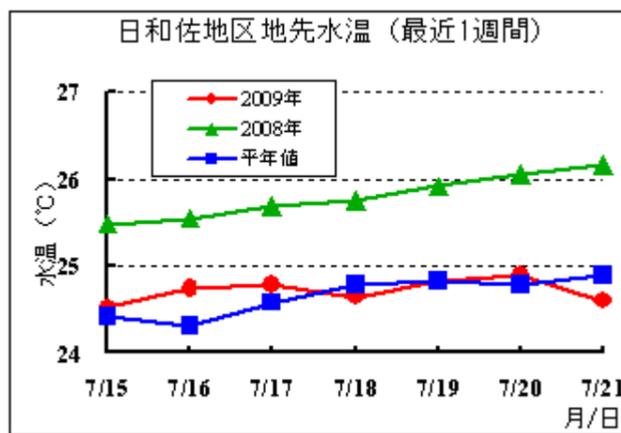
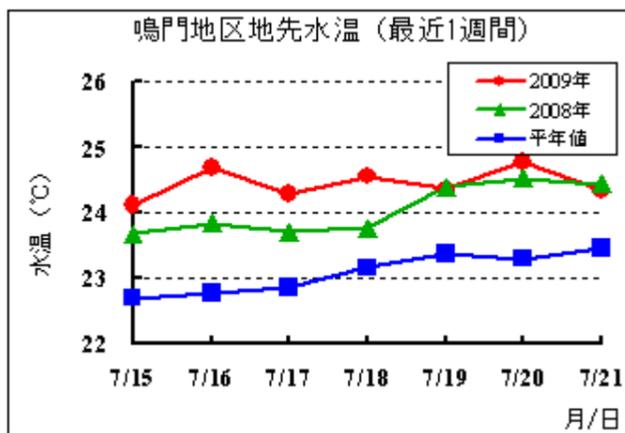


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.7.21)を示した。黒潮は、室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は26～27℃台である。表面水温は播磨灘が24℃台、紀伊水道が23～26℃台、紀伊水道外域も同じく23～26℃台である。紀伊水道外域では、暖水の波及と低水温域の存在により特徴的な海況を呈している。25℃台の暖水は、室戸岬東から東北方向に波及する。しかし、外域東北部まで届かず、日ノ御碕周辺に25～26℃台の分断された暖水として存在している。また、22～24℃台の低水温域が、熊野灘南部から潮岬を超え外域中央部まで広く存在し、拡大傾向にある。先述の暖水の不連続は、この低水温域にさえぎられたものと考えられる。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の24.1～24.8℃、日和佐地区は「平年並み」の24.5～24.9℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の23.3～24.9℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、ウルメイワシが2.8トン(1日1隻当たり68kg)、カタクチイワシが0.4トン(同23kg)、キビナゴが1.5トン(同138kg)、中主体にマアジが1.7トン(同30kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、イサキが0.5トン(同11kg)、海部沖合で大主体にカツオが0.3トン(同299kg)、紀伊水道で、小主体にサワラが0.2トン(同37kg)、特大主体にタチウオが2.0トン(同31kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが98.2トン(同595kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 7月13日～7月19日 県下6漁協からの聞き取り

| 漁業種類 | 漁獲海域 | 魚種 | 延べ出漁隻数 | 漁獲量(kg) | 1日1隻当たり漁獲量(kg) | 銘柄・その他 |
|-------|------|---------|--------|---------|----------------|--------|
| 小型定置網 | 海部沿岸 | ウルメイワシ | 41 | 2,804 | 68 | |
| | | カタクチイワシ | 16 | 368 | 23 | |
| | | キビナゴ | 11 | 1,517 | 138 | |
| | | マアジ | 56 | 1,690 | 30 | 中主体 |
| | | イサキ | 50 | 543 | 11 | |
| 釣り | 海部沖合 | カツオ | 1 | 299 | 299 | 大主体 |
| | 紀伊水道 | サワラ | 6 | 220 | 37 | 小主体 |
| | | タチウオ | 64 | 1,954 | 31 | 特大主体 |
| パッチ網 | | シラス | 165 | 98,175 | 595 | |

週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」、潮岬では「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の24℃台後半～25℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の24℃台後半～25℃台前半で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県では、ひき縄でタチウオ1.6トン(1日1隻あたり18kg)、定置網でマアジ0.7トン(同116kg)、釣りで、スルメイカ3.8トン(同32kg)、タチウオ0.3トン(同2kg)、イサキ2.8トン(同23kg)、パッチ網でシラス8.0トン(同167kg)が水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上